

パトレ入門③ ～注目のパワー～

こどもの
不適切な行動
への対応

R6.9月



親の言うことを聞かず、自分の思いを泣いて通そうとしています。

どうする？



ア. こどもの言うとおりにする。

とりあえず
泣きやんで～！

イ. こどもに言って聞かせる。

ダメなものは
ダメ！

ウ. 泣き止むまで待つ。

落ち着いてから
話そう。



言うことを聞けばすぐ泣きやむので。



大きな声で泣けば
思いは通るよ！
さあ泣こう！

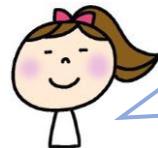
注目される＝うれしい！



泣くのをやめられたね！
さあ、話そう。
(泣き止めた時に注目する！)



話せばわかる！



いつもより
一所懸命話しかけてくれる。
泣けばいっぱい関わって
もらえるんだ！



全ては泣くのをやめてから。(注目外し)



こんなに泣いているのに
相手にしてくれない…。

泣き止むと…

アの対応…泣くことで注目が得られ、要求も通っています。経験をもとに「泣けば思い通りになる」と学習してしまうと、思いが通るまで、強く長く泣くようになってしまいます。

イの対応…「叱られたら嫌だろう」と大人は思いますが、肯定的な注目(笑顔・ほめる)も、否定的な注目(注意・叱る)も、どちらも子どもの行動を強め増やす力を持っており、こどもは注目された行動を、繰り返すようになります。

ウの対応…注目が得られず、こどもにとって泣くことによるメリットがない状態です。こどもが泣き止んだときに、大人が素早く肯定的な注目を向けるようにすると、長く泣かなくなります。



← 人が多い場所で泣く場合、保護者は注目外しをしながら移動します。ため息や不機嫌な表情も、否定的な注目(イの対応)になりますので、淡々と対応してくださいね。



注目外しはこどもの行動に対してするものであって、こどもの存在に対してするものではありません。外出先では特に、こどもから目を離さないようにしてくださいね。

神原保育園子育て支援センター
電話相談はお気軽に
0836-21-6484 まで